



航空連 スカイネットワーク

を支える会

あなたもわたしも、応援団！！

現在、私たちの労働環境を取り巻く情勢は、かつてなく厳しく困難な状況となっています。経営者は、震災・原発事故をも活用し、非正規・正規を問わず雇用が脅かされ、労働条件の切り下げが強められています。この状況の中で、労働組合の果たすべき役割が非常に重要となっています。しかしその労働組合が存分に力を発揮する状況も希薄と言わざるを得ず、加えて組合に組織されていない労働者も数多くいるのが現在の状況です。

この情勢の中、今労働界では個人加盟の労働組合が、多くの労働者の力強い支えとなっています。航空労働界では、スカイネットワークが存在し、同様に力を発揮しています。

このスカイネットワークを一層強化することが求められており、専従体制の確立や財政基盤の強化が必要です。この度、スカイネットワークの一層の強化を目指し「スカイネットワークを支える会」を立ち上げました。多くのみなさまのご参加を熱望致します。

2011年7月1日 呼びかけ人代表 藤田 哲治(元民航労連議長)

☆「支える会の呼びかけ人」に
応じていただいた方

- 近村一也さん 航空連議長
- 大田隆幸さん スカンジナビア航空
労組元委員長
- 木挽 勝さん 元日航労組委員長
- 小野正裕さん 機長OB
- 市本 淳さん 元民航労連成田地連

「スカイ・ネットワーク」の活動は下記HPで
HP <http://skynetwork.phenix.or.jp>
E-mail : skynetwork@Phenix.or.jp

スカイネットワークは 多くの争議で活躍中です



2011年1月、スリランカ航空・大嶽さんと
JALUX分会Sさんの解雇撤回勝利集会

支える会は、専従確保の
ための財政支援で
スカイネットワークの
活動を支えます

ご入会いただける方は、最後のページの振込み用紙に必要な事項をご記入の上、会費を、ご入金ください。

スカイネットワークは弁護士とも連携して 多くの闘いで成果をあげています

世間では不安定雇用が増え続けて、いまや労働者の3人に1人、若者の2人に1人が非正規雇用です。ワーキングプア(年収200万円以下)は、5人に1人といわれています。航空の職場でも、契約・派遣・アルバイトがどんどん増え続けています。最近では、地震・原発の影響を受けて、さらに厳しい状況が生まれています。

「突然解雇された」「残業代が払われない」「休憩時間も取れない」など1人で悩んでいる労働者がたくさんいます。スカイネットワークは、こうした相談に耳を傾け航空に働く人たちの労働条件を守るために頑張っています。東京南部法律事務所や千葉中央法律事務所の弁護士さんとも連携して、労働者の雇用と労働条件を守るために毎日奮闘しています。

5月28日に開催された、ロシア航空青木さんとタイ航空橋本さんの喜びの解雇撤回勝利集会

ロシア航空の青木さんは、希望退職を拒否したところ一方的に解雇されました。東京地裁の労働審判で勝利、会社が控訴したため東京地裁の本訴でこれまで闘ってきました。多くの仲間の支援で、1年という短い期間で嬉しい勝利結果となりました。



タイ航空の橋本さんは、上司からの退職強要を受けて、2007年に解雇されました。スカイネットワークに加入して解雇撤回を目指して闘ってきました。そして2011年に大阪高裁で労使和解が成立しました。

そして……



一人ぼっちから抜け出した労働者は仲間とともに立ち上がっています

「スカイネットワークを支える会」にご参加を 2011年7月

スカイネットワーク（SNW）は、航空で働く労働者が一人でも加入でき、自らの問題を自分たちと労働組合ベテランOBの組合員が一緒になって闘い、雇用や権利、労働条件向上を勝ち取っていく労働組合です。

SNWは2003年の組合設立以来、様々な問題を抱えながらも、多くの争議や労働条件の改善を勝ち取ってきました。例えば、エジプト航空では2003年のイラク・SARS問題での解雇危機を組合加入で乗り越えました。グランドハンドリングの下請けの職場では未払い賃金や残業代を支払わせました。解雇争議ではJALUXのSさんの解雇を撤回させ職場復帰を果たしました。スリランカ航空、ロシア航空、タイ航空でも解雇を撤回させています。こうした実績は、空港内でのピラ配布、ホームページ、クチコミなどで伝えられ、航空界の多くの未組織労働者から期待が寄せられており、SNWには雇用や労働条件の切り下げに不安を抱える労働者から相談が次々に寄せられています。航空の経営者もSNWの実績には注目しており、SNWに団体交渉で乗りこまれないように対策を講じている企業があるほどです。

しかし、厳しい雇用状況に置かれ、労働運動の経験のない労働者の権利を守って闘うには、組合専従者の存在が不可欠です。労働組合が財政的に抱えられる専従は1,000人に一人といいますが、それは、一定の安定した収入のある正規雇用の組合の場合です。SNWの組合員は非正規労働者や一人争議の組合員も多く、現在の組合費収入では専従を抱えることは勿論、本部や支部役員の行動費すら保障が出来ない状況です。

現役労働組合員の皆さん、労働組合OB/OGの皆さん、社会活動家、ジャーナリスト、弁護士の皆さん、航空に働く未組織の仲間の雇用、労働条件を守るためには専従活動家が不可欠です。専従確保のため、ぜひ「支える会」にご参加いただき、行動面や財政面からの支援をお願いします。個人でも団体でも会員になっていただくことが可能です。ベテラン組合活動家の皆さん、若い活動家がたくさん育ち、新しい労働市場に対応した運動スタイルや組織形態が発展するよう、ご援助をお願いします。

切り取り線

（ご注意）

- ・この用紙は、機械で処理しますので、口座記号番号及び金額を記入する際は、枠内にはっきりとご記入ください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・この用紙は、ゆうちょ銀行または郵便局の払込機能付ATMでもご利用いただけます。
- ・この払込書をゆうちょ銀行または郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証等を必ずお受け取りください。
- ・この用紙による払込料金は、ご依頼様が負担することとなります。
- ・ご依頼様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

収入印紙
3万円以上
貼 付
印

この場所には、何も記載しないでください。

